

# 情報処理の概念

---

## #0 概説・目的・要旨

Yutaka Yasuda

# 問題提起

---

- 情報処理技術の普及

情報処理技術の応用の広がり

企業活動や個人生活、法制度までに変化が

もはや新聞も読めない？

- テーマ

この現代にあって、我々はコンピュータや情報処理の何を理解するべきか？

## 理解すべき対象は何か？

---

- 過去

コンピュータとプログラミングはほぼ同義

- 現在

一般的な利用者にとって、プログラミングは決して妥当な理解への入り口ではない。

- プログラムの理解だけでは不十分。

## 理解すべき対象は何か？

---

- プログラム = 直接的な指示書
- では原理や要素技術を理解することではどうか？

数学、計算機科学、電子工学

それで現在の社会的な変化を説明できるか？

- 動作原理、要素技術の理解だけでもまた不十分。

# 現在の情報処理システム

---

- 現代の情報処理システムを理解する、とは？

要素技術の理解

社会的動きを含めた全体の把握

そのバランス

- 全体を把握する意味を考える
- 講義を通じてさまざまな事例を見ていきましょう

# 講義の方向性

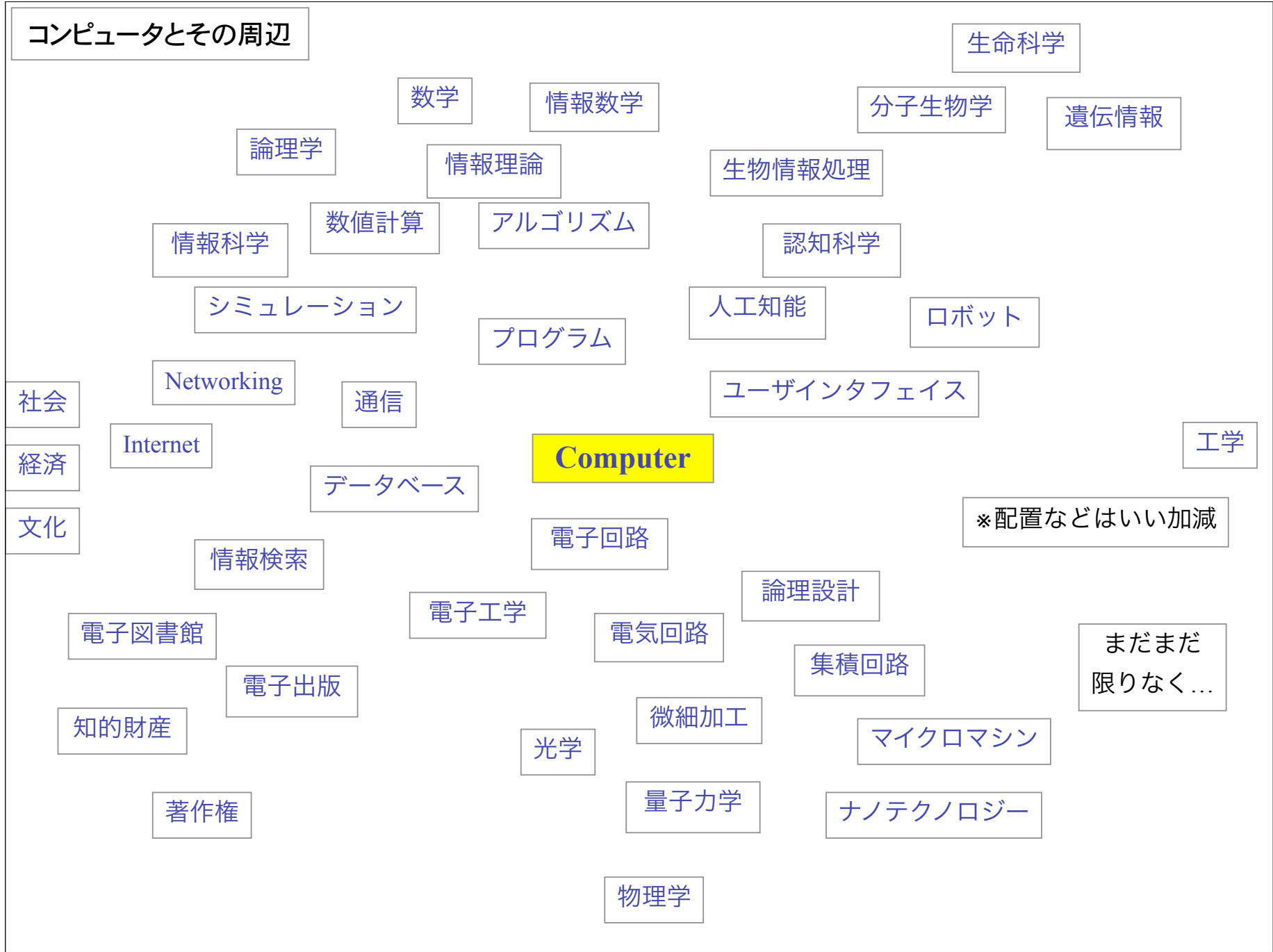
---

- 原理から社会的な問題まで幅広く

デジタル化の原理、コンピュータの構造、歴史、ソフトウェアの意味、データ通信の仕組み、ネットワーク企業、知的財産ビジネス、電子出版、オープンソース活動、セキュリティ、暗号、デジタル家電

- 情報処理システムの現在のすがたを俯瞰する

バランスの取れた視点を獲得する  
(視点の再調整)



## 期限付きの理解という考え方

---

- 題材の多くは期限付きの価値を含む

一過性

再現性なし

評価も変わる

- 新しい技術や価値観、事象が発生しても揺るがない考え方、その立脚点とは？



## 表現する価値

---

- 自己の思考を表現する重要性

自己の理解を自己の言葉で表す

- 提出結果は公開する

丸写し提出に対する効果を試したい

## 講義資料など

---

- 可能な限りネットワーク上に置く

随時参照されたし

<http://ylb.jp/>

講義に関する連絡は主としてここで行う

コメントや質問などフィードバックも可

- 連絡先  
[yasuda@cc.kyoto-su.ac.jp](mailto:yasuda@cc.kyoto-su.ac.jp)